

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷七第

行發日一月八年七正大

論說

我戰時利得稅ヲ論ズ(二).....

遊民考(二).....

相續稅批評ノ重點(三).....

さんぢかりずむ概論(三).....

植民地統治ノ形式ニ就テ(三).....

黃宗羲ノ政治經濟思想(三).....

露國ニ於ケル新まゝるくす主義(二).....

時事問題

支那ノ金本位問題ニ就テ(二).....

救濟事業ノ調査ニ就テ.....

救濟調査會ニ就テ.....

雜錄

飯島學士譯經濟學原論ヲ讀ム.....

戰費調達問題(二).....

赤穂ノ鹽田(二).....

通貨膨脹卜物價騰貴.....

法學博士

小川郷太郎

法學博士

瀧本誠一

法學博士

神戸正雄

法學士

河田嗣郎

法學士

山本美越乃

文學士

小島祐馬

文學士

米田庄太郎

法學博士

戸田海市

法學博士

神戸正雄

法學士

櫛田民藏

文學士

高田保馬

法學士

小島昌太郎

法學士

本庄榮治郎

法學博士

神戸正雄

さんぢかりずむ概論 (二)

河田 嗣 郎

(二) さんぢかりずむノ教義

前述ノ如クさんぢかりずむナルモノハ現存ノ社會制度ニ對スル反抗トシテ、又社會進化ニ關スル理論トシテ、又新社會組織ニ對スル理想トシテ、又所期ノ目的ヲ達スルガ爲メノ手段トシテ表ハレ來リタルモノデアアル。從テソハ固ヨリ依テ立ツ可キ理論的基礎ヲ有シ、所謂哲學ヲ有スルモノデアアルガ、然シ大體ニ於テさんぢかりずむハ理論ヨリモ行爲ヲ尊ビ、其ノ有スル理論ハ畢竟之レ長キ實生活ノ經驗ヨリ造リ出サレタル成果デアツテ、某々個人等ノ見解ヨリ出デ來リタルモノデハナイトセラルル。即チソハ實生活上ノ條件ニ依リテ造リ上ゲラレタルモノナレバ、實生活ノ變化ト共ニ日々ニ緩和セラレ又改造サルルモノトセラル。

サレバさんぢかりずむハ哲學ハ之ヲ有スレドモ、ソハ行爲ノ哲學タルニ外ナラズト自稱スルノデアツテ、實行的ノ人々ニ依リテ其ノ人々が社會革新ニ關スル行動ノ内容ヲ豐富ニセムガ爲メニ造リ出シタル教義タルニ外ナラズト考ヘラレ、又事實然ル次第デアアル。¹⁾

事情右ノ如クナルガ故ニ例ヘバ之ヲセられるノ著書ニ就イテ見ルモ、勞働者階級ノ中ニ在リテ

1) A. Tridon, The New Unionism, P. 17; Félicien Challaye, Revolutionärer Syndikalismus und reformistischer Syndikalismus, S. 4.

ハ自然的ニ一大革命的勢力ノ發展セルアリ、労働者ハ不知不識ノ間ニ新社會組織ヲ造リ出ス可ク
驅リ立テラレルモノデアツテ、彼等ハ實ニ世界ニ於ケル創造の進化力デアアル、労働者等ハ何等ノ
確定的ナル主義ヲ必要トシナイ、階級ト階級トノ間ノ軋轢ハ實ニ豫見シ難キ結論ヲ齎スモノデア
ル、而シテ此等ハ皆労働者ガ理論ノ爲メニ腐敗セシメラルルコト無キ限り當然ニ表ハレ來ルモノ
ナリト云フガ如キ思想ヲ窺フコトガ出來ルノデアアル。即チ吾人ハ理論主義ラシナリズムニ對スル此種ノ反抗ヲ
窺知スルコトガ出來ルノデアアル。(Sartre, Le Procès de Socrate)

併シ乍ラ當初何等ノ哲學ヲ有セザリシさんぢかりすむモ其ノ實行運動トシテノ地歩ノ漸ク堅固
トナルニ連レテ、ヤハリ其ノ行爲ヲ是正ス可キ理論ハ之ヲ必要トセザルヲ得ザルニ至リ、洵ニそ
ーれる氏ヤベると氏等ノ如キハ却ツテ大イニ此ノ教義ノ建設ニ對シテ功績アルモノトセララルニ
至ツタノデアアル。而シテさんぢかりすむハ已ニ其ノ一般の性質ニ於テ著シク無産者階級のデア
リ、常ニ唯單ニ無産者階級ノ利益ヲノミ眼中ニ置キ其ノ以外ノモノハ全然之ヲ無視スルガ如キモ
ノナレバ、其ノ據テ立ツ理論若クハ其ノ有スル哲學ハ徹頭徹尾無産者階級ノ哲學デアアル。寔ニさ
んぢかりすむハ唯ダ消極的ニ無産者階級以外ノ利益ヲ無視スルニ止ラズ、現時ノ社會ハ二ツノ全
然利害相反セル階級ヨリ成リ立チ、兩階級ハ此ノ利害ノ衝突ヨリシテ、互ニ不斷ノ鬭爭ヲ爲スヲ
餘儀ナクサレ居ルモノト考フルノデアアル。然カモ此ノ鬭爭タルヤ和解協ヲ許サズ、兩者中ノ一
方ガ完全ニ亡滅ニ歸スル迄行ハレザル可ラザルモノデアツテ、資本主階級ハ労働者階級ノ利益ヲ
壟斷シ、労働者ヲ奴隸ニセムガ爲メニ經濟及ビ社會ノ現制度ヲ造レルモノナレバ、唯ダ此ノ資本

主階級ヲ打亡ボスコトニ依リテノミ勞働者ハ自由トナルヲ得可キモノト考フルノデアアル。而シテ此ノ目的ニ向ツテさんちかりずむハ勞働者一般ヲ鼓舞シ、資本主義的ナル現制度ヲ打亡ボシテ、新タナル勞働者支配ノ社會制度ヲ造リ上ゲザル可ラズト爲スノデアアル。新社會組織ニシテ一ト度造リ成サレタル以上ハ、勞働者ハ最早勞働者タラズ、彼等ハ解放サレタル自由ニシテ然カモ自己ノ勞作ノ全結果ヲ享受スル平等ナル人々トシテ幸福ナル生ヲ送ルヲ得ルモノトセラルルノデアアル。斯クノ如キ次第ナレバ、さんちかりずむノ教義ノ根本ヲ爲スモノハ、第一ニハ現存ノ資本主義制ヲ批評シ階級戰爭ノ事實ヲ確認スルコトト、第二ニハ國家制ヲ批評シ愛國主義ヲ判斷スルコトトニ存セザルヲ得ナイノデアアル。

先ヅ現存ノ資本主義的組織ヲ批評シ階級戰爭ノ事實ヲ確認スル點ニ就イテハ、さんちかりずむハ在來ノ社會主義ノ教義ヲ繼承祖述スルモノデアツテ、此點ニ關シテハ何等創見ノ見ル可キモノガナイ。而シテさんちかりずむモそしありずむモ共ニ社會及ビ經濟ノ現組織ノ完全ナル改造ヲ希望スル點ニ於テハ同様デアアル。試ニさんちかりずむガ有スル階級戰爭ノ理論ニ就キテ見ルニ、ソハ實ニ積極的ナル攻勢的階級戰爭ノ理論デアアル。而シテ此事アルガ爲メニさんちかりずむハまるくす主義ノ流ヲ酌ムモノトセラルル次第デ、そーれるヤらぶりおーらヤらがるでる等ノ如キさんちかりずむノ使徒等ハ、何レモ皆まるくす主義ノ遵奉者ナリトセラルル次第デアアル。勿論彼等ハ些末ノ點ニ於テハまるくす説ヲ非難攻撃スルケレドモ、此ノ階級戰爭ノ理論ノ本流ニ於テハ依然トシテまるくす學徒デアアル。

彼等ハまるくす主義ヲバ其元ノ純ナルモノニ復ヘサント主張スルノデアアル。彼等ノ見ル所ヲ以テスレバまるくすノ本來ノ思想ハ純乎タル無産者のノモノナリシニ及んげるすヤかうつきーヤリ一ぶくねひじヤ其他ノ末流ガ漸次妥協的態度ニ變ジまるくす説ノ醇酒ニ混ズルニ不純ナル有産階級のノ思想ヲ以テセルガ爲メニまるくす説ハ漸次不透明ナルモノトナリ議會主義ニ化シテシマツタノデアアル。サレバ此等ノ不純ナル分子ヲ濾過シテ元ノ醇粹ナル無産者哲學ニ復ヘサナケレバナラスト主張スルノデアアル。即チ本來まるくす説ハ其ノ理論ヲ理論通りニ押通セバ、ソハ到底議會ニ代議士ヲ送り立法ノ力ニ依リテ社會改革ヲ行ハントスル議會主義トハ爲ル可フザルモノデアアル。ソハ何ウシテモ勞働者自身ノ力ニ依ル直接行動ノ教義トシテ表ハレナケレバナラス。ソレヲ彼ノ及んげるすヤかうつきー輩ノ如キガ拈化シテ終ニ斯クノ如キ妥協的分子ノ混レルモノトシタノデアアルカラ、さんぢかりすむハ此ノ不純ノ分子ヲ去りまるくす説ヲシテ其ノ本來ノ面目ヲ押通サシメントスルニ過ギヌト云フノデアアル。²⁾

然シ乍ラ此ノ主張ハ大イナル見當違ヒデアアル。然ラザレバ強イテまるくす説ノ流ヲ我田ニ引カントスルモノタルニ過ギヌ。元來まるくす説ハ社會進化ノ自然法則的基礎ノ上ニ立ツモノデアアンテゆーとびあニ對シテ極力科學的立場ヲ主張セントスルモノタルヤ實ニ之レまるくす説ノ學說トシテノ立場デアアル。尤モまるくすハ時ニゆーとびあヲ説カナイデモナカツタケレドモ、然シソガ在來ノゆーとびあニ對シテ新タニ學理的旗幟ヲ樹テタルモノナル以上ゆーとびあハ其ノ極力排斥スル所デナケレバナラス。從テ社會革命ニ依リテ一朝ニシテ新社會ヲ造リ出サントシ、其爲メニ

武斷の少數主義 (Affiliant Minorities) ヲ掲揚スルガ如キハ最モまるくす説ト相容レザルモノタルヤ言ヲ俟タス。まるくすハ實ニ勞働者ノ國際的大運動ヲ起サント企テタル者デアツテ、然カモ彼ハ議會主義ヲ排斥シタルモノニアラザルコトハ、之ヲ彼ノ共產宣言書 (Das kommunistische Manifest) ニ照シ見ルモ明カデアアル。まるくすハ或ル少數者ガ暗愚ナル大衆ノ前ニ立テ之ヲ率ヒテ暴力ニ依リテ事ヲ成シ得ルノ時代ハ過ギ去リタリト爲シ、唯ダ大衆ガ自覺的ニ共同運動ヲ起シ各自其ノ目的ヲ知り意義ヲ辨ヘテ自己内心ノ希求ヨリ自ラ一致シテ事ヲ爲スニ依リテ爾メテ社會改善ノ運動ハ成就シ得可キモノト考ヘタ。

サレバさんぢかりすむヲ以テまるくす主義ノ嫡流ト爲シ然カモ不純物ヲ去リタル大平眞味ト爲スガ如キハ、洵ニ當ラザルノ甚シキモノデアアル、然ラザレバ強ヌルノ甚シキモノデアアル。尤モさんぢかりすむノ理論中ニハまるくす説ノ分子ハ多分ニ含まレテ居ルケレドモ、ソハ唯ダさんぢかりすむト云フ複雑ナル合金ノ一素成分トシテ含まレテ居ルニ過ギヌノデアアル。

惟フニさんぢかりすむノ階級戰爭ニ關スル理論ト社會主義ノ階級戰爭ニ關スル理論トハ酷似シテ居ルケレドモ、然シ全然同一ノモノト見ルコトハ出來ヌ。さんぢかりすむノ人々ハ階級戰爭ヲ行フニ當リテハ社會全般ノ利益ハ之ヲ眼中ニ置クコトナク、全然勞働者ノ利益ヲノミ顧慮シ、勞働者ノ利益ノ爲メニ社會的鬭爭ノ行ハレ、其レニ由リテ社會ノ一般的利益ガ傷害セラルルコトアリトモ彼等ハ之ヲ意トセザルモノデアアル。而シテ又其ノ鬭爭ノ手段ニ關シテモさんぢかりすむノ人々ハ之ヲ行フニ陰險譎詐ノ伴フヲ厭ハズ惡辣暴戾ノ伴フヲ厭ハズ、寧ロ此等ノ伴フ手段ニ依リ

テ資本主及ビ一般的ニ現時ノ社會全體ヲシテ其ノ最モ大切ニシ其ノ最モ苦痛トスル所ヲ毀傷シ、以テ産業ヲ萎縮セシメ社會ヲ畏怖セシメント欲スルノデアル。從テソガ道德的ニ甚ダ非難サル可クシテ之ヲ行フニ依リ勞動者ノ徳性ノ傷ケラレ、其ノ道德的廢頽ヲ來タシ、又一般社會ニ對シテ道德標準ヲ却退セシムルコトアリトモ、彼等ハ之ヲ意トセズ、寧ロ却ツテ此等ノ點ニ就キテ顧慮シ痛心スルヲ以テ神經過敏^{センシティブな}トシテ嘲笑セムトスルノデアル。サレバ一般的ニさんぢかりすむノ思想ハ decadenceノ傾向ヲ伴フモノ否寧ロ decadenceノ傾向ニ依リテ其ノ思想ハ養ハレタルモノト謂フコトガ出來ルノデアル。

之ニ反シテまるくす一派ノ社會主義者ハ階級戰爭ヲ行フトモソハ唯ダ勞動者ノ解放ノ爲メニ之ヲ行フモノタルニ過ギズシテ、然カモンハ社會一般ヲシテ調和アル幸福ナル狀態ニ達セシメンガ爲メニ之ヲ行フニ過ギザルモノナレバ、從來一般文明ノ齎セル成果ハ十分之ヲ尊重シ、又資本主義其物ガ從來爲シ遂ゲタル種々ノ文明上ノ貢獻ト功績トモ之ヲ認ムルニ吝ナラズ、總ベテ此等ハ之ヲ守リ之ヲ育テテ勞動者モ等シク其惠ニ浴スルヲ得ルニ至ラシメ、將來ニハ更ニ一層文化ノ發達ト道德標準ノ向上ヲ計ラントスルモノデアル。³⁾

尤モ先ニさんぢかりすむトあなるひすむトノ異同ヲ述ブル際ニ一言セシガ如ク、さんぢかりすむモ亦決シテ文明ヲ無視シ、從來ノ發達ヲ却退セシムルコトヲ希フモノトノミハ限ラザル次第デ、どらうどまん氏ノ如キハ明カニ之ヲ言ツテ居ルノデアルガ、ソレハ其ノ意圖ニ於テ然ルモノタルニ過ギズシテ、さんぢかりすむガ行フ階級戰爭ノ手段ヨリ生ジ來ル直接ノ結果ニ就キテ見レバ、

3) J. Spargo, Syndicalism, Industrial Unionism and Socialism, pp. 50-65

ソガ社會文明ヲ損ヒ道德性ヲ傷クルモノ少カラザルコトハ否ムニ由ナキ所デアル。但シ此種ノ問題ニ就キテあなるひずむトさんぢかりすむトそしありずむトノ比較ヲ爲セバ、ツマリハ程度上ノ區別ノ認メラルルニ過ギヌコトトナルデアラウ。而シテ又此種ノ點ニツキテ此等ヲ批評スル場合ニハ、現制度ト現文明ト現道德トノ立脚地ノミヨリ之ヲ爲ス譯ニハ行カスノデアル。現制度ニ立脚シテ之ヲ見レバ大イナル傷害ト致ヘラレ從テ大イニ非難ニ値スルコトモ、あなゝきすとやさんぢかりすむとやそしありすとやノ夫々ノ立場カラ云ヘバ、却ツテ大イニ幸福ヲ増サンガ爲メ文明ヲ進メンガ爲メ又道德標準ヲ高メンガ爲メニ行ハルルモノトモ見ユルノデアル。價值判斷ハ要スルニ立場ノ異ルニ依リテ岐レ來ルヲ忘レテハナラス。

以上ハさんぢかりすむノ現社會制度ニ對スル批評トシテ特ニ階級戰爭ニ關シテノ議論デアツテ、此ノ點ニ於テハさんぢかりすむハ本流タルト支流タルトハ暫ク措キ免モ角まるくす派社會主義ノ流ヲ酌ムモノナルヲ明カニスルヲ得タ。然ルニ次ギニ國家制度ニ對スル批評ニ於テハさんぢかりすむハ社會主義ニ遠クシテ、寧ロ太ダ無政府主義ニ近イノデアル。即チさんぢかりすむハ現存ノ國家制度ヲ否認スルモノデアツテ、將來建設サル可キ組織ノ下ニ於テハ勞働者ノ造レル多數ノ組合ト其ノ組合ノ聯合團體トノ外ニハ何等ノ政治的團體ノ存在ヲ認メザルモノデアル。從テさんぢかりすむハ所謂民主主義ニ對シテハ何等ノ同情ヲ有シテ居ナイ。民主主義ハ各階級間ノ區別ヲ無視スルモノナルガ故ニ階級戰爭ト云フ基礎ノ上ニ立ツコトハ不可能デアアル。

元來政黨ナルモノハ階級的ナル實際上ノ利害ヲ基礎トシテ同一利害ヲ有スル同一階級ノ人々ヲ

以テ一政黨ヲ形造ルモノデハナク、種々ノ方面ノ人々ガ入交リテ政黨ヲ形造リ而シテ其ノ政黨ニ依リテ議會ハ形造ラレ又支配セラルルモノデアアル。サレバ議會ニ於テ階級間ノ利害ノ正當ナル代表ヲ見ントスルハ不可能事ニ屬スル。況ンヤ議會ニ依リ議會ノ手ヲ經テ勞働者階級ノ階級トシテノ利益ヲ進メ其ノ解放ヲ行ヒ、又其手ニ依リテ社會ヲ改造セムトスルモ、ソハ到底望ミ得可カラザル所ナリトセラルル。

之レさんぢかりずむガ議會政治ニ信任セザル所以デアツテ、社會主義ガ議會政治ニ依リテ勞働者ノ解放ト社會ノ改造トヲ成就セムトスルハ、木ニ椽リテ魚ヲ得ントスルニ等シキモノトシテ之ヲ嗤ヒ、さんぢかりずむトシテハ非議會主義ヲ旗幟トシテ揚立スルノデアアル。何レニシテモさんぢかりずむハ法律ノ基礎ノ上ニ又其ノ保護ノ下ニ事業ヲ建設セムトハセザルモノデ、現存ノ社會制度ガ誤謬タリ國家制度ガ不當ノモノタル限り、其ノ制度トシテノ存在ヲ否認シ、根本的ニ之ヲ改造セザル可ラズト爲ス次第デアアル。

國家ヲ否認スル所ヨリシテさんぢかりずむハ當然ニ非愛國主義ヲ採ルモノデアアル。さんぢかりずむハまるくすニ從ヒ、無産者ハ母國ヲ有セズト云フ詞ヲ文句通りニ押通サントスル。勞働者ノ母國ハ唯ダ勞働ト報酬トノ在ル所タルニ外ナラズトスルノデアアル。さんぢかりずむノ人々ハ愛國主義ハ私有財産制度ト緊密ノ關係ヲ有スト爲シ、何物ノ財産ヲモ有セザル勞働者ニ愛國心ナキハ當然ナリト考ヘテ居ル。而シテ彼等ノ考ニ從ヘバ現今ニ在リテハ政治的觀念ハ經濟的觀念ノ陰ニ隠レテシマウノデアツテ、國家制度ガ幅ヲ利カシタル時代ハ既ニ過ギ去リ、階級制度ノ時代ノ開

ケタルモノナレバ、今ヤ人々ニハ何等ノ愛國の義務ハ存在セズシテ、其ノ代リニ各人ハ其ノ屬スル階級ニ奉仕ス可キ義務ヲ有スルモノナリトスルノデアル。即チ勞働者ハ己レノ母ヲ愛スルガ如クニ己レノ階級ヲ愛シ、自己ノ階級ノ爲メニ其敵タル階級ト戦ハナケレバナラス。斯クテ今ヤ國家間ノ戰爭ニ代リテ階級間ノ社會戰爭ガ行ハル可キモノナリトスルノデアル。

而シテ軍隊ナルモノハ國家制度ニ隨伴シ、其ノ政治上ノ利益ト資本主ノ財産トヲ擁護スルガ爲メニ存スルモノナリトセラルル。サレバさんぢかりすむハ非軍事主義ヲ標榜スルノデアル。何故ニ勞働者ハ資本主ノ私有財産ヲ擁護セムガ爲メニ生命ヲ抛チテ軍隊ニ奉仕セナケレバナラスカ。之レ彼等ノ疑問トシ絶叫スル所デアル。何レニシテモさんぢかりすむハ現今ノ軍隊ヲ以テ國家ノ爪牙ト考フルモノナルガ故ニ軍國主義ニ對シテハ最も熱心ナル反抗ヲ試ルノデアル。彼等ハ謂ラク、軍隊ハ常ニ資本主階級ニ奉仕シ之ニ忠勤ヲ抽ンズルニ腐心スルモノデアルカラ、同盟罷工ノ起レルガ如キ際ニハ常ニ來ツテ勞働者ヲ征伐スルモノデアルト。サレバ彼等ハ軍人間ニハ努メテさんぢかりすむノ思想ヲ鼓吹シ、兵士ガ自ラ軍國主義ニ反抗シ、戰爭ノ場合ニ出征ノ命ニ服セザルハ勿論、自ラモ亦制服ヲ着ケタル勞働者ニ外ナラズト云フ自覺ヲ有シ、常ニ勞働者ノ味方トシテ立ツニ躊躇セザルガ如クナラシメント欲スル。さんぢかりすむノ人々ハ忘ラズ軍隊内ニ傳道シテ謂フニハ、諸君ヨ諸君モ亦憐ム可キ勞働者デアル。諸君ガ制服ヲ脱シテ故郷ニ歸リテ勞働ニ従フ時、若シ諸君ガ勞働者トシテノ境遇改善ノ爲メニ世ト戦ハントスル際ニハ、他ノ現役ニ在ル軍人ハ鞭チ來リテ諸君ニ銃砲ヲ差向クルモノナルヲ忘ルル勿レ。軍隊ト云フ組織ハツマリ資

本主ノ牙城タルニ外ナラヌノデアルカラ、其ノ制度ノ撲滅ニ對シテハ諸君モ亦我等ト共ニ奮闘努力セナケレバナラヌト。

要スルニさんぢかりずむハ非國家的ナル點ニ於テハあな一ひずむニ近イノデアアルガ、然カモ其ノあな一ひずむタルヤ文學的ナルモノニアラズ、又形而上學的ナルモノニアラズ、又すちるな一ノ極端ナル個人主義ニモアラズ、實ニばく一にんノ共產的無政府主義ニ近イノデアアル。

凡ソ以上ニ述ブル所ノ如キハさんぢかりずむガ其ノ教義トシ理論トシテ有スルモノノ骨子デアツテ、學理的ニ見テ其ノ甚ダ貧弱ナルハ争ト難キ所ニ屬スル。然シ前ニモ之ヲ明カニセシガ如ク、元來さんぢかりずむハ實行ヲ旨トシ理論ヲ主トスルモノデアク、又之ヲ標榜シテ立テルモノデアアルカラ、其ノ理論的立場ノ薄弱ナルハ洵ニ已ムヲ得ザル所デアアル。加之さんぢかりずむノ人々ハ所謂智識主義インテレクチュアリズムニ反對スルモノデアツテ Enrico Leone ノ如キハ明白ニ智識階級ト名ケラルル特權階級ヲ滅除ス可シト要望シテ居ル。即チ彼ハそーれるト共ニ智識階級ト名ケラルル人々ハ無用ノ長物ト考フル次第デアアル。彼等ノ考ニ從ヘバ智識階級ノ人々ハ生産的ナル寄生虫タルニ過キズ、資本主階級ニ依リテ養ハルルカ、然ラザレバ資本主階級ノ造リタル國家ニ依リテ養ハルルモノデアアル。然ルニ其ノ階級ノ人々ハ智識ヲ專有シ、學問技藝ヲ獨占セムトスルヲ常ト爲スガ、元來此種ノモノハ萬人ノ等シク之ヲ有シ之ヲ用ユ可キモノニシテ、智識階級ノ人々ノ專有ニ屬ス可キモノデアナイトセラルルノデアアル。洵ニさんぢかりずむヲ奉ズル人達ハ、學問藝術ノ進歩ハ特權ヲ有スル學者及ビ技藝家ノ存在ニ依賴スルモノニ非ズト考ヘテ居ル。即チ古來學問ヤ藝術ノ眞

4) F. Challaye, a. a. O. S. 7-17

ニ發達セル跡ヲ尋ヌレバ、其ハ専門ノ學者階級ヤ藝術家ノ階級ニ依リテ行ハレタルニアラズシテ、却ツテ名モナキ人々ノ力ニ負フ所ガ多大デアツタ。例ヘバ、じつと藝術ニ就キテ見ルモ、誰一人其ノ大家トシテ専門ナル職業的ノ人ノ名ノ上グ可キモノ無ク、じつと藝術ハ無名ナル建築職人ヤ彫刻職人ニ依リテ造リ上ゲフレタルモノナリト考フルノデアアル。

而シテ猶ホさんちかりずむハ實際的ニハ、佛蘭西ナドニ在リテハ、智識階級ノ人々ハ彼等ノ占ム可キ正當ナル場所ハ議會ニ在リト信ズルノデアツテ、彼等ガ勝利ヲ得タル際ニハ社會ノ支配權ハ完全ニ彼等ノ手中ニ歸ス可シト考ヘテ居ルノデアアル。然ルニさんちかりずむノ極力反對スル所ノモノハ此ノ人民ノ代表的支配權ナレバ、さんちかりずむハ當然ニ智識階級ニ反抗シ、社會支配ノ實權ハ之ヲ無産者階級ノ手中ニ收メナケレバナラス。何レニシテモ智識階級ノ人々ノ有スル利害ト無産者階級ノ有スル利害トハ全ク別異ノモノナリトセラルル。而シテそゝれるノ曰フニハ智識階級ノ人々ハ社會ノ負擔ニ於テ生活シ、現時ノ社會ハ勞動者ノ負擔ニ於テ生活スルト。⁵⁾

5) A. Tridon, *ibid.* pp. 61-63; A. D. Lewis, *Syndicalism and the General Strike*, p. 46.